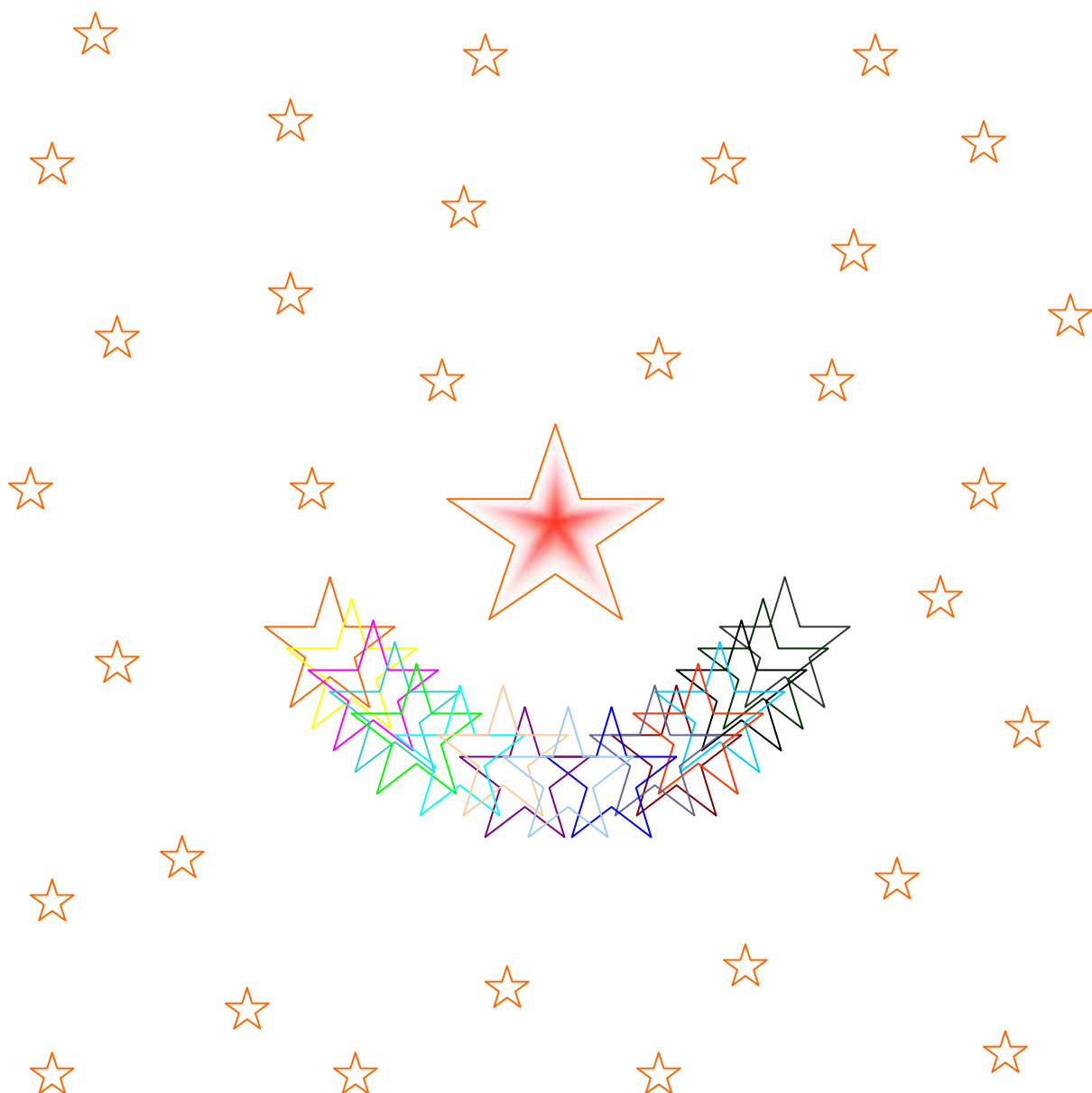


# 平成18年度 中学生のための景観教室 実施報告書



平成18年度都市景観啓発事業  
宮崎市都市整備部都市景観課  
(実施協力校：宮崎市立青島中学校)

## はじめに

宮崎市では、平成2年4月に宮崎市都市景観条例を施行し、「豊かなひろがりのある、花のにあうまち・みやざき」を都市景観形成の基本理念として、緑豊かな自然と文化に育まれた、宮崎らしい、美しく魅力あるまちづくりを推進しています。また、平成17年度より「九州一の景観都市づくり」にも取り組んでいます。

「都市景観」とは、視覚として捉えられる建築物や木々の緑などの都市の風景やこれを取りまく遠景としての自然環境はもとより、市民生活の中から生まれてくる街の表情、文化、心象風景など、質的、精神的なものを含めた総体的なものとして受け止められるものです。そのため、都市景観は単に物理的な環境を示すものではなく、市民が営む都市活動、都市環境が総括された個性、感性の表現として、その都市の文化水準を表すものといえるものです。

私たちの住む宮崎市には、緑豊かな山々や美しい海岸線、滔々（水が広くみなぎり、勢いよく、盛んに流れて行くさま）と流れる大淀川などの恵まれた自然が多く残されています。それらを活かしながら、文化の香り豊かな快適な市民生活が営めるように、自然環境と都市空間をバランスよく配置し、市民が共有できる良好な景観を有するまちを創っていく必要があります。

そのためには、市民一人ひとりの「景観」に対する意識の高揚を図ることが大変重要になっています。特に、将来の景観形成の担い手である子供たちに対して、学校教育の中で景観やまちづくりに関する話題を積極的にとり上げ、景観について学ぶ機会を提供するためのしくみが必要とされています。

この「景観教室」は、景観に関する学習を社会科の授業にとりあげた初の試みとして、平成14年度から各学校の先生方と協力しながら実施しているものです。

# 目 次

第1章 景観教室の概要	・・・	P 1
第2章 景観教室の進め方 STAGE 1 ( 1時間目)	・・・	P 3
第3章 まちづくりに関する学習 STAGE 2 ( 1時間目)	・・・	P 6
第4章 まちなみ観察・調査研究 STAGE 3 ( 2～5時間目)	・・・	P 11
・各班の調査結果	・・・	P 14
第5章 まちなみ模型づくり STAGE 4 ( 6～8時間目)	・・・	P 17
第6章 景観教室の学習を振り返って STAGE 5 ( 9時間目)	・・・	P 21



# 第1章 景観教室の概要

## 1 実施目的

「都市景観」は、市民一人ひとりの様々な生活意識や価値観に基づく活動の結果として創り出されるものであり、良好な都市景観の形成を推進するにあたっては、市民や事業者の景観に対する知識や認識を深めることが重要です。市では、このような市民の意識を醸成すべく、道路や河川などに地域の方々と協働して花を植えたり、また、景観シンポジウムや講演会といった各種イベントを開催するなど、様々なかたちで情報提供や啓発活動に努めているところです。

景観教室は、「都市景観」をテーマにした授業を学校教育の中にとりこむことにより、将来の都市景観形成の担い手である子供たちの景観に対する興味や関心を喚起し、自主的な活動を通じて知識の習得を図る試みです。

## 2 実施期間

平成18年6月 ~ 平成18年12月

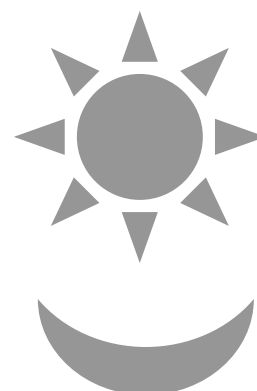
## 3 実施協力校

宮崎市立青島中学校（川越俊信校長）

## 4 実施科目

3年社会科選択（担当：海野育志朗教諭）

生徒13名



## 5 実施項目

STAGE 1 景観教室について（オリエンテーション）

景観教室の内容、スケジュール等の説明

STAGE 2 まちづくりに関する学習

都市景観からのまちづくりについて

STAGE 3 まちなみ観察・調査研究

まちなみ観察・調査研究内容のまとめ、発表

STAGE 4 まちなみ模型づくり

まちなみ模型の制作

STAGE 5 景観教室の学習を振り返って

## 6 実施概要

### 時間別実施状況

1 時間目	オリエンテーション 景観教室の進め方、スケジュール等説明 まちづくりについて 都市景観からのまちづくりについて
2 時間目 3 時間目	まちなみ観察・調査研究 学校周辺を歩き気になった風景やまちなみを 写真に撮り、撮影場所や感想をレポートにまとめ ることにしました。
4 時間目 ~ 5 時間目	まちなみ観察・調査のまとめ、発表 各自が撮影した写真を利用して、まちなみ観察 の調査結果をまとめ、各班で発表を行いました。
6 時間目 ~ 8 時間目	まちなみ模型づくり 各班でテーマを決めて、まちなみの模型を 制作。 土台づくり（道路、土地の区画割り） 都市景観課で作製 建物その他施設の作製 3つの班の模型について、特徴などの発表を 行いました。
9 時間目	景観教室の学習を振り返って 景観教室の感想をまとめ発表を行いました。

まちなみ観察・調査のまとめや模型作りは、授業時間の他放課後の  
時間なども使って制作していただきました。

## 第2章 景観教室の進め方（STAGE 1）

### 1 時間目 - 景観教室について（オリエンテーション） -

景観教室で学習する内容について、実施要項を基にスケジュール等を説明しました。



#### オリエンテーション

- ・「景観教室」の進め方、スケジュール等について



#### まちづくりに関する学習

- ・都市景観からのまちづくりについて
- ・まちなみ観察の視点、調査目的



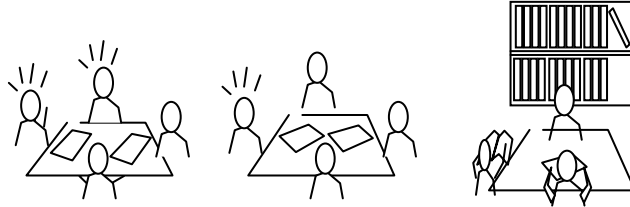
#### まちなみ観察・調査

- ・生徒一人につき1個レンズ付きフィルムを配付します。
- ・授業時間に学校周辺を歩き気に入った風景やまちなみなどを写真に撮り、撮影場所、感想などをレポートにまとめます。



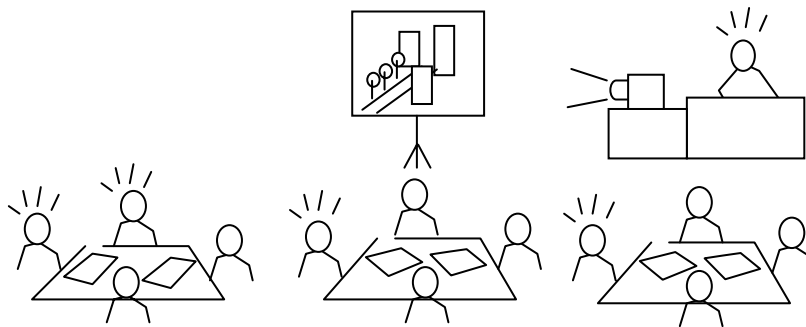
### まちなみ観察・調査のまとめ

- ・ 学校周辺の気に入った風景やまちなみなどの写真を整理し調査結果等をまとめます。



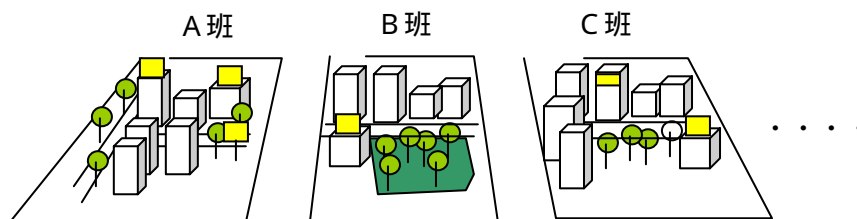
### まちなみ観察・調査の発表

- ・ 各グループでまとめた、まちなみの調査結果を発表します。



### 実習コーナー（模型づくり）

- ・ テーマに沿って、調査した景観事例をもとに、景観要素と考えられるパーツを作り、各班がまちなみの模型をつくります。
- ・ 個別パーツによりどのように変化するか学習します。
- ・ 各班の模型を連続し、まちなみを認識させるようにします。





### 景観教室のまとめ

- ・ 景観教室のまとめを行います（調査、実習内容のまとめ）。
- ・ 実施報告書（小冊子）に載せる各人の感想その他の内容を検討します。

模型づくりを終えた時点で、まちづくりについてもっと詳しく勉強したい事項や疑問などがある場合には、特別（追加）授業を行います。

（例）緑のまちづくりについて・・・など

景観教室の実施内容については、

- ・ 小冊子にまとめ、参加生徒に配付します。
- ・ 今後の学校教育との連携を図るため、各学校にも配布します。
- ・ 実施内容については、市のホームページに掲載します。

## 第3章 まちづくりに関する学習 (STAGE 2)

### 1 時間目 - 都市景観からのまちづくり -

都市景観とは？

視覚として捉えられる

建築物や木々の緑などの都市の風景

都市の風景をとりまく自然環境

市民生活の中から生まれてくる街の表情、文化、心象風景



Check 見える環境であり、生活環境そのものです。

物、人、場所の相互関係により成立するもので、これらをどのように調和させ、秩序を保ち、融合させていくかが課題となっています。

なぜ、景観を考えることが重要になってきたのでしょうか？

経済性、機能性が最優先

- ・ 技術的な面にしか配慮がなされなかったこと。
- ・ 規制の範囲内であれば、建築が自由であったこと。
- ・ 歴史的価値を否定した開発が進行したこと。

など、経済成長を重視したことで、自然環境の破壊や公害問題など様々な弊害があらわれ社会問題化しました。

法制度の未整備

私的財産である建築物などについて、景観の観点から規制・誘導を行う明確な根拠（法令）が存在しませんでした。

理論的、技術的検討の遅れ

「質」で判断されるデザインの基準づくりが、行政になじみにくかった（美の基準づくり）。



Check ゆとりある、豊かな生活環境の追求

全国一律の法制度のもとで、画一的な都市化が進展する過程で、歴史的なまちなみの保存や良好な自然環境に対する関心が高まり、身近な生活環境をより豊かなものにすることが求められるようになってきました。

景観行政の流れ

歴史的景観の保存から

歴史的背景を無視して進行する建築、開発に対する批判が、歴史的町並み保存・保全を行政施策に位置づける動きに発展し、その制度づくり（条例・要綱）へと展開していくことになります（京都市、金沢市など）。



都市景観（デザイン）づくりへ

歴史的景観の保存・保全から出発した取り組みが都市全体の景観づくりを視点とした活動へとつながっていきます（横浜市・神戸市）。

先駆的な都市景観（横浜市 1965年頃～）

都市政策に「まちのデザイン（景観）を継続的にコントロールする」という概念を導入し（アーバンデザイン行政）都市空間の質的向上をめざして各種のプロジェクトを展開していきました。

- ・馬車道、伊勢崎などの商店街の再生
- ・重要地区のデザインガイドの策定  
（山下公園周辺、日本大通り地区、みなとみらい21地区）
- ・歴史的建造物の保存など



（授業風景）

宮崎市の景観行政

平成2年に「宮崎市都市景観条例」を制定し、具体的な施策に取り組んできました。

都市景観形成地区の指定（4地区）

- ・橋公園通り地区
  - ・高千穂通地区
  - ・一ツ葉リゾート地区
  - ・日南海岸地区
- 景観形成の基準を設定

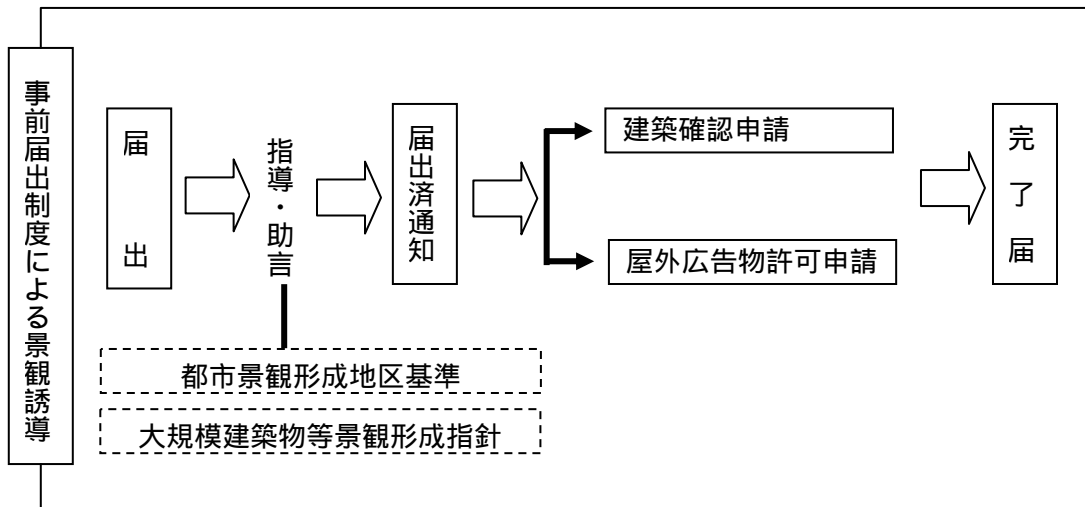


Check 具体的な景観誘導の手法

景観形成地区の景観を保全・創出するため、建築行為等の内容について届出を義務付け、事前に協議を行います。

大規模建築物等の事前届出制度（景観形成地区以外）

大規模な建築物や工作物は、都市景観形成に及ぼす影響が大きいことから、その事業者に対し、建築行為等を行うに当たって景観上どのように配慮したか、事前にその内容について届出を行うよう義務付けています。



市民意識の高揚

都市景観条例に基づく届出（協議）制度は、民間（個人又は事業者）を対象としておりますが、建築物等の形態・色彩等をコントロールしようにも、建築の自由、表現の自由に関わる問題があり、行政指導による景観誘導にも限界があります。

そこで、市民一人ひとりの景観に対する意識を高めることが重要になっていきます。



Check 景観に対する市民意識の高揚

- ・宮崎市都市景観賞（平成4年度～）
- ・専門家による講演会等の開催
- ・違反広告物の市内一斉除却
- ・景観教室（平成14年度～）
- ・都市景観海外（シンガポール）派遣研修（平成17年度～）
- ・オープンガーデン市民見学会（平成17年度～）

## 都市景観形成の手法について

都市景観の形成手法（より良い景観づくりのための手法）について勉強しました。

### 景観形成から見た都市の空間

景観形成の観点から、都市の空間を考えてみたとき、重要なポイントとして以下の三つの空間構成の概念が必要とされています。

- ・ 公的領域

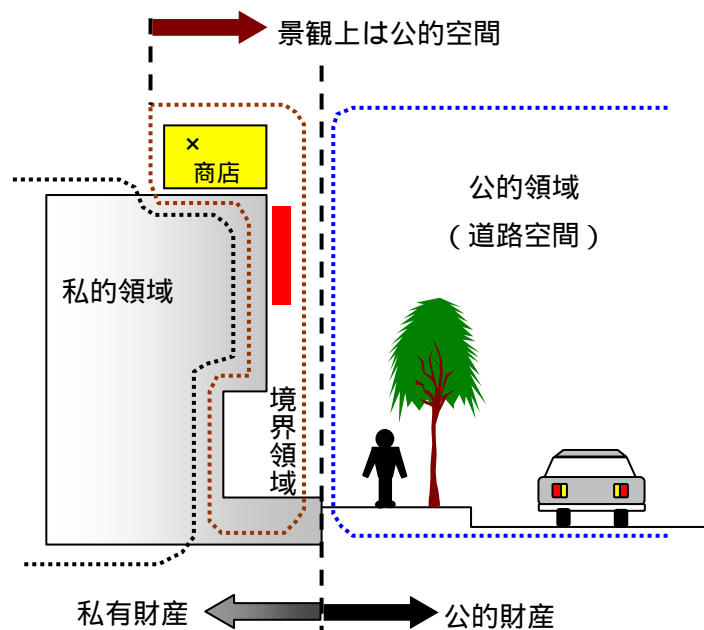
道路空間に代表される公共の空間 = 公的財産

- ・ 私的領域

個人や会社等の民間が所有する土地建物等 = 私的財産

- ・ 境界領域

私的領域に属するが、公共の空間に面していることから、言わば半公共的な空間として位置づけられ、都市の良好な景観の形成を図るうえで、この境界領域をいかに誘導するかが課題となっています。



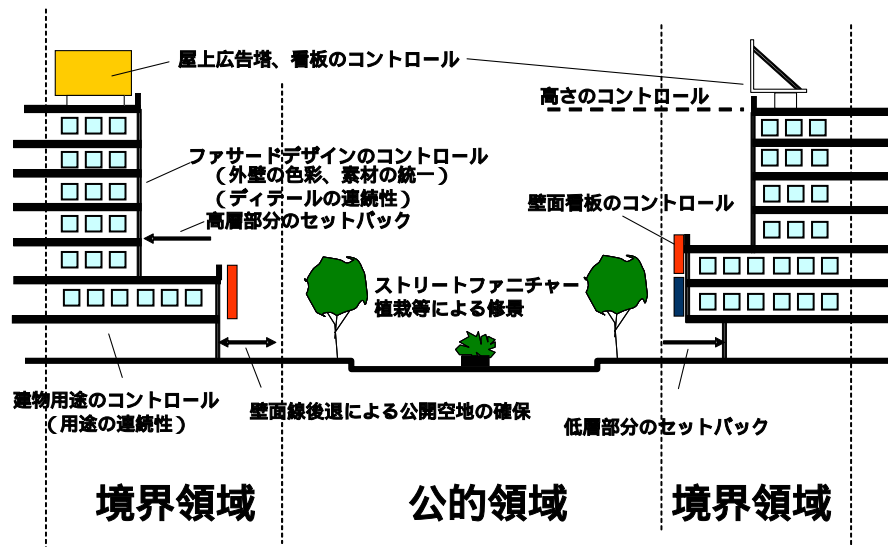
Check 景観形成からの都市空間の概念図

### 沿道景観のコントロール手法

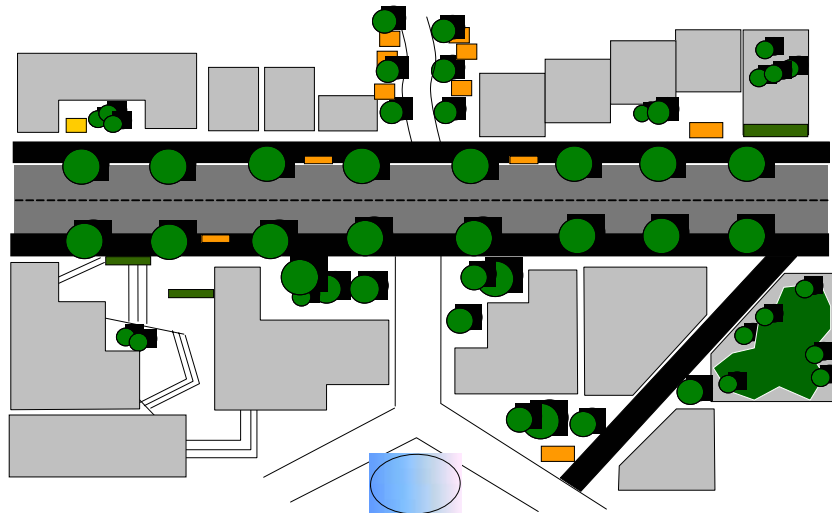
道路空間から見た景観、道路に沿って続く連続したまちなみ景観を「沿道景観」といいます。良好な景観の形成を図るためには、景観を構成する様々な要素に目を向け、適正にコントロールすることが求められています。

- ・ 建物の屋上や壁面に設置される屋外広告物（看板）
- ・ 建物の高さ（スカイライン）

- ・道路境界からの建物（壁面線）後退（＝セットバック）
- ・建物の外壁の色彩や素材の統一などファサード（前面）デザインなど



Check 沿道景観のコントロール手法



Check 都市空間の演出方法  
（建物・植栽の配置、オープンスペースの確保など）



（表紙）



【授業で使用した資料:宮崎市の景観まちづくり  
市民啓発用パンフレット（H18年度作成）】

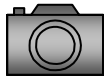
## 第4章 まちなみ観察・調査研究( STAGE 3 )

### 2・3時間目 - まちなみ観察・調査 -

授業時間を利用して、実際に自分達の住んでいるまち(青島)を2つのルートに分かれ徒歩で観察し、まちなみの良いところや気になるところなどを自由にカメラで撮影することにしました。

#### Check まちなみ観察レポート作成

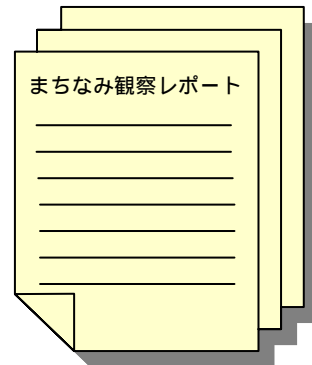
各自、できあがった写真を整理して、まちなみ観察ノートに感想等をまとめておきます。



レンズ付きフィルムを生徒に一個ずつ準備しました。



フィルムの現像等の費用も都市景観課で負担しました。



(まちなみ観察の様子)

4・5時間

- まちなみ観察・調査まとめ -

3班に分かれて、模造紙にカメラで撮った写真を貼り付けて先生や市職員のアドバイスを受ながら各班でまちなみ観察の調査結果をまとめてもらいました。



市の職員がアドバイス!?



6時間目

まちなみ観察の調査結果発表

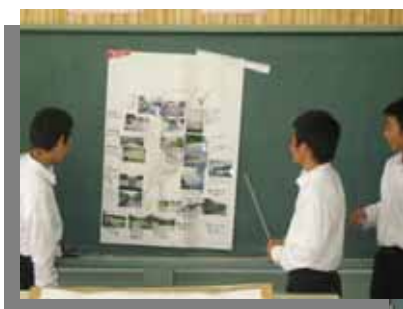
各班でまとめた調査結果を発表してもらいました。各班とも青島の良い所や直した方がいいところなど調査して感じたことをよくまとめていました。



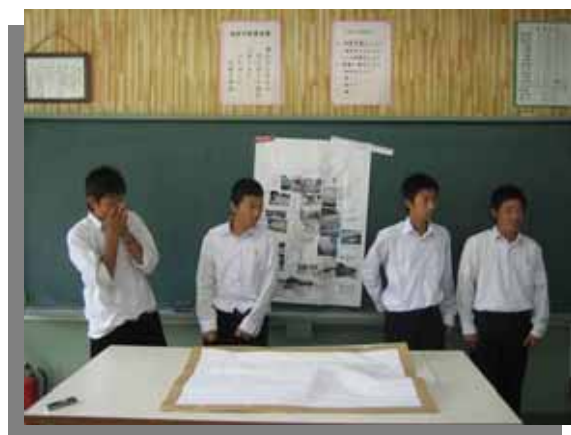
1班







2班



3班



詳細な調査結果は、14～16ページをご覧ください

トピック

平成18年10月29日(日)に行われた学習発表会で、まちなみ観察の調査結果を全校生徒や保護者の前で発表しました。(写真はその時の発表の様子です。)



# 各班の調査結果

## 1 班



2 班

道は木や花が少ない、  
花を植えた方がいい

海から見た青島  
青島はとてきれいな島  
島の荒廃若くは  
国の天然記念物に  
指定されている

青島商店  
かいろいさな  
かいろいさな

龍駅前  
札付道

龍駅裏  
なカスコイ

龍駅裏  
札付道  
ナカノイ

折生追駅  
札付道  
花少ない

森林E-site  
T-site

青島小学校付近  
札付森をた

海岸の道から見た青島  
道はきれいな島  
海も青く輝いている

青島小学校付近  
札付木々

青島小学校付近  
場所が変!!

龍中学校  
札付学校

龍中学校付近  
むすらい道  
昔の道だった

龍中学校前  
札付花がた!

3 班

全部閉まていて  
+ 美しい

はやくこましてほしい  
(つがねをこましてほしい)

空と海がきれい

ゴミ捨て場になって  
いる。

宮山町らしい  
(やしろキ)

大自然のコラボレーション

ゴミ捨て場をこましてほしい  
入札物をかえる

電線が5mとじつま  
外国産らしいな片側

きたない

こましてほしい  
(危ない)

5年かかるとか  
(ゲートボール場)

景色がきれい  
(アメリカみたい)

色が白く綺麗がいい

フェンスはいらな  
いと思う

郵便を感心して  
美しい

道路標示がきまている

田舎とキがマッチ  
している

おどろきの道の風景がスポット

## 第5章 まちなみ模型づくり (STAGE 4)

6～8時間目 - 模型づくりのまえに -

- まちなみのイメージづくり -

まちなみのイメージを共有する

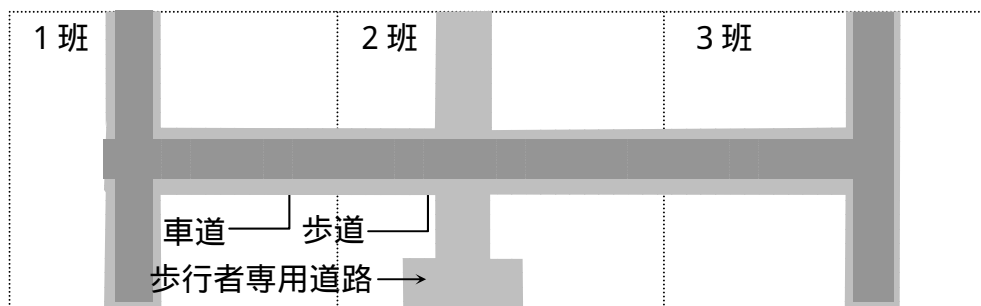
まちなみの模型は、生徒を3つの班に分け、各班1個ずつ作ることにしました。どのような「まち」を作るのか、各班で話し合っ、自分たちの好きなまちを作ってもらいました。

Check まちを構成している施設など

住宅、アパート、マンション、ホテル、学校、ビル、デパート、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、飲食店、図書館、警察署、歩道橋、橋、工場、病院、公園、街路樹、まちのシンボルなど

土台づくり (道路や敷地の区画)

メインストリートとおおまかな土地の区画線を記入した設計図をもとに土台をつくりました。なお、今回は都市景観課が事前に準備しました。



建築物などの施設づくり

スチレンボードを切り貼りして、建築物などの施設を組み立てていきます。

普段の生活でハサミやカッターナイフをあまり使わないせいか、最初のうちはぎこちない手つきでしたが、けがをしないように注意して作りました。



- 模型制作風景 -



ここは芝生に  
してみようか？

↓(先生に相談!?)



(真剣なまなざしで作業に没頭中) →

## 各班の模型

1班から3班までの模型がそれぞれ完成しました。



1班  
テーマ：【みんなが楽しく  
住めるようなまち】

2班  
テーマ：【愛する町】



3班  
テーマ：【きっと元気】

## 模型づくりに関する感想

- 模型を作るときに気がつけたことは？ -

他の班の模型を見ながら建物の大きさなどを考えて作りました。  
住む人や観光客の人達が住みやすい環境や居心地の良い場所などを考えながら作りました。

建物の間隔や大きさ、配置。

周囲に応じて建物の大きさを工夫した。

緑を多く使って自然を表現したところ。

役割分担をし、みんなで協力して作業がスムーズに進むように工夫をした。

## 模型の繋ぎ合わせ

各班で制作した模型を繋ぎ合わせて一つのまち並みにしてみました。



(左から 1 班、 2 班、 3 班)



- 他の班の模型と繋ぎ合わせてみた時比べてみた時の感想など -

全体的に見て、バランスが合っていました。道路に木があってとてもきれいでした。

思っていたよりうまく出来ていたので良かった。道路に木がたくさん並んでいたり、建物に色々な工夫がされていて良かった。

全体的に建物が大きかった。

模型を繋ぎ合わせて気付いたのは、全体的にあまり一つの模型が目立たないような工夫がしてあってとても良かった。

それぞれの班で作った模型には、自分たちと違った色々な工夫がしてあった。みんなで考えると多くの工夫が出来たり、よりよい環境が出来ると分かりました。

全体的に木が多くていいと思った。

自分たちの班は、未完成だったけど他の班と繋げてみたら結構良く出来ていました。



## 第 6 章 景観教室の学習を振り返って ( STAGE 5 )

9 時間目 - 景観の学習を終えて -

### 感想

生徒のみなさんに、景観教室の学習を振り返って感想文を書いていただきました。全文を掲載することができませんが、その一部をご紹介します。

まだまだ知らない景観が自分たちの住む青島にはあるのでそれらを見つけて良い所は全国のみんなに教えて、悪い所は直していきたいです。景観教室は、僕たちにとって青島をみんなに知ってもらってよりよい青島を作っていくために役に立ったと思います。

写真を撮ったことで、考えながら風景を見ることが出来ました。

自分たちの町の写真を撮って、きれいなところと汚いところなどが分かりました。景観教室を通して、自分たちの町の景観がよく分かりました。

自分達のまちなみをじっくりと見直すことが出来てよかった。これからは、自分達のまちなみの良い所をみつけていきたいと思いました。

外を歩いて今まで何気なく通っていた道だったけど、写真を撮って調べてみたらいい所もあり、逆に悪い所もあり調べてよかったと思いました。

今まで、青島の景観について何も思いませんでした。毎日のように同じ道を何も感じずに見ていました。だけど、この景観教室で、毎日とは言えないけど青島の景観について目で見て感じるようになりました。

自分たちの町について考えることができて良かった。自分の町をもっと観察して良い所や悪い所を少しずつ直していけたらいいなと思いました。

写真を撮ったりした時、自分たちの町なみがよく分かりました。

他の班の発表を聞いたりして、無人駅の写真や町に花や木が少ないことも分かりました。青島には、まだまだ知らない景観があることを知りました。

景観に関する学習を聞いたり、体験して景観は景色だけではなく、そこに住んでいる人や自動車など色々なものが入る事を知り驚きました。青島の景観を見に行つて青島の良い場所と悪い場所を見ることが出来て良かったです。

景観教室を通して、とても景観に対しての心が身に付いたと思います。模型作りは、最初は不安だったけどやってみれば結構うまくいきました。みんなと協力して出来たのでとてもいい経験になりました。

まち並み観察で外に出た時、地元にいながらも知らない場所がいっぱいありました。景観を乱す物などもかなり多くあってびっくりしました。

模型を作るとき最初は、なかなか出来なかったけど、後からは出来てきました。やっているうちに楽しくなってきました。

## あとがき

平成14年度から始めたこの「景観教室」も今年で5年目となります。将来の景観形成の担い手である子供たちに、少しでも景観に対する興味や関心を持ってもらえるように、景観やまちづくりに関する話題や具体の事例をたくさんとりあげました。

どの生徒もはじめは「景観」と言われても理解できていないようでありましたが、まちなみ観察の発表や感想文などを聞いたり読んだりしてみると、実際に自分たちのまち（青島）を歩いて、調査結果をまとめたりすることによって景観に対する意識も深まったのではないかと感じます。

また、今回は少ない授業時間ではありましたが、放課後の時間なども使って一生懸命模型作りに取り組んでいただくなど、景観教室を無事に終える事が出来ました。

この学習を通じて、生徒の皆さんが今後の宮崎のまちづくりや景観づくりに興味を持ち、また、携わってくれることを大いに期待します。

最後に、実施にあたり、ご指導、ご協力をいただいた宮崎市立青島中学校の先生方や楽しい雰囲気の中で授業に臨んでいただいた生徒のみなさんに対し厚くお礼申し上げます。

景観教室に参加してくれた生徒の皆さん



人にやさしい宮崎

思いやりの心にみちた豊かな宮崎

自然と環境を守り、スポーツと文化に親しめる宮崎

平成19年2月発行 宮崎市都市整備部都市景観課  
〒880-8505 宮崎市橋通西1-1-1  
TEL .0985(21)1817 / FAX .0985(26)3520

